

◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇
～メールマガジン第24号（平成28年6月24日発行）～

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆ I N D E X ◆◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

【1】トピックス

- ・協働プロジェクトアイディア募集結果について
- ・北海道大学公開講座「北海道の地震と防災」が開催されました

【2】イベントピックアップ

- ・NHK旭川・旭川地方気象台「たいけん!! はっけん!! 防サイキッズパーク！in名寄」
- ・宮坂建設工業（株）「第2回親子防災教室」

【3】日本全国！ぼうさいの取組紹介！

- ・一関市観光ボランティアガイド「いわいの里ガイド会」

【4】お知らせ

- ・損保協会「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」募集中
- ・「北海道シェイクアウト2016」参加者募集中
- ・「北海道地域防災マスター認定研修会」の開催について

【5】ネットワークへようこそ！

- ・6月24日（金）現在91（30個人・61団体）
- ・横顔紹介：シン技術コンサルタント（株）

【1】トピックス

■協働プロジェクトアイディア募集結果について

先月号のメールマガジンで、構成員の皆様に「協働プロジェクトとしてこんなことをやってみたい」というアイディアを募集しました。

ご応募いただいたアイディアは7件です。それぞれの概要は次のとおりです。

1) 防災教育教材「北海道防災かるた」の内容検討【日本気象協会】

楽しみながら防災知識が身につく「防災かるた」の読み札・取り札の文案を協働で検討。

- 2) 災害情報体験学習会の実施【日本防災士会北海道支部】
災害現場を見学し、当時の状況と現在の復旧・復興を対比させ、今後の防災取組の参考とする。
- 3) 災害ボランティア活動マニュアルの作成【日本防災士会北海道支部】
北海道における災害ボランティアの活動の指針となるようなマニュアルの作成を協働で実施。
- 4) 「防災・減災モデル地区」の設置【日本防災士会北海道支部】
日高・十勝・釧路地区に「防災・減災モデル地区」を設置し、様々な防災の取組を協働で集中的に行う。
- 5) 防災マニュアル雛形の作成【安味則明】
町内会単位の避難所運営マニュアルや、家庭単位の災害対応マニュアルのひな形を協働で作成し、提供する。
- 6) ほっかいどう市民防災大学の実施【北海道】
協働ネットワーク構成員が協働で行う防災講座。「道民カレッジ」と提携し、受講者に単位認定。
- 7) 災害時ラジオ活用プロジェクト【日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会】
全道AM・FM各放送局の周波数や各局の防災の取組、有識者コラム等を掲載したパンフレットを協働で作成し、ドライバーに配付。

6月末に、事務局より改めて応募いただいたアイディアの内容の詳細について、お知らせいたします。

これらのアイディアを活かすために、どのように連携して取り組んでいけばよいのか、ネットワーク構成員の皆様からご意見をいただいた上で、提案者と事務局が中心となって考えていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

■北海道大学公開講座「北海道の地震と防災」が開催されました

6月11日（土）・18日（土）に、北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センターにおいて、公開講座「北海道の地震と防災」が開催されました。

2日間にわたるこの講座は、本ネットワーク構成員の方々も多く講師として登場し、「あなたの周りの観測点」や「家庭でできる地震防災対策」などをテーマに、地震に関する基礎知識をはじめ、家庭における実践的な防災の取組について、講義・演習形式で行われました。

講義の中では、4月に発生した熊本地震や今月16日に発生した内浦湾を震源とする地震についても、解説がありました。

専門家による丁寧な説明に、多くの参加者がうなずきながらメモを取ったり、積極的に質問をするなどしており、防災に対する関心の高さがうかがえました。

また、避難所運営ゲーム（D oはぐ）を使った演習もあり、参加者同士で避難所運営について議論することで、地域の防災対策について考えるきっかけとなりました。

今後も、このような防災知識を学べる講座が開催されることを期待します。

【2】イベントピックアップ

6月～7月の防災イベントを紹介！

■名寄市■ 「たいけん!! はっけん!! 防サイキッズパーク！in 名寄」

6月25日（土）、名寄市の天塩川名寄大橋上流左岸を会場に、NHK旭川放送局と旭川地方気象台の主催により防災啓発イベントを実施します。（午前9時～午後1時30分：小雨決行）これは、総合水防演習に併せて開催されるものです。

雨量計や風向風速計など気象庁が気象観測に使用している機材を展示するほか、災害時に情報を伝えるアナウンサーになりきる「アナウンサ一体験」や「お天気キャスター体験」、NHKの中継車見学など、様々なコーナーが展開されます。

災害時の各種情報の活用方法が体験しながら学べるイベントで、参加は無料です。

なお、このイベントは本ネットワークの協働事業となっています。

詳しくはNHKオンラインのイベント・インフォメーションをご覧下さい。

<https://pid.nhk.or.jp/event/PPG0281881/index.html>

■帯広市■ 「第2回親子防災教室」

7月9日（土）、帯広市のとかちプラザ（西4南13）を会場に、本ネットワーク構成員の宮坂建設工業株式会社が主催する親子防災教室が開催されます。（午前10時～午後3時）

このイベントでは「親子でPUSHコース体験」と題して、模擬AED200台を使用し、帯広消防署の応急手当指導員の指導の下、親子で救急蘇生演習を実施するほか、災害時の対応を考えるカードゲーム「なまづの学校」や、非常食試食コーナー、身の周りの物

を使った応急手当の方法が学べるコーナーなどが実施予定で、災害時に役に立つ知識が楽しみながら身につくイベントです。

詳しくは宮坂建設工業（株）のホームページをご覧下さい。

<http://www.miyasaka-cc.co.jp/news/index.html#N20160620>

■その他のイベント情報はこちらから

- ・ネットワークイベントカレンダー（平成28年7月～平成29年3月）

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

【3】日本全国！ぼうさいの取組紹介！

日本全国に視点を広げ、特色のある防災の取組を紹介します！

皆さんが行う防災の取組の参考となれば幸いです。

今回は、岩手県で災害教訓伝承に取り組んでいる団体を紹介します。

【岩手県】地震災害の語り部活動「いわいの里ガイド会」

「いわいの里ガイド会」は岩手県の南の玄関口である一関地方の史跡や名勝を案内する、観光ボランティアガイドの団体です。

平成14年の設立以来、約30人のガイドが松尾芭蕉ゆかりの地を案内したり、地元に伝わる民話や伝説を地元言葉で伝えたりするなどの活動を行ってきましたが、平成20年の岩手・宮城内陸地震を契機に、メンバーが独自に勉強を重ね、自らの地震の経験を伝え、地震により崩落した橋などの震災遺構をガイドコースに加えるなど、災害の語り部としての活動も行っています。

観光地をめぐるだけでなく、被災経験や震災遺構を見聞きすることにより自然の脅威を訪れた方に知っていただくことで、普段の防災・減災の意識が重要であるということを理解してほしいということです。

いわいの里ガイド会のホームページはこちら。

<http://iwainosato.web.fc2.com/top.html>

【4】お知らせ

■損保協会「ぼうさい探検隊マップコンクール」募集中

日本損害保険協会では、今年で13回目を迎える「ぼうさい探検隊マップコンクール」の募集を行っています。

小学生がまちにある防災施設などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめて発表する「ぼうさい探検隊」。小学生は2名から参加でき、大人は指導者として参加できます。

日本損害保険協会北海道支部からのメッセージです。

「ぼうさい探検隊は子どもたちが楽しみながら防災・防犯・交通安全を学べるプログラムで、夏休みのイベントや課外活動などに最適な活動です。実施に役立つツールやすすめ方をわかりやすく記載したマニュアルなどを無償でご提供しますので、ぜひご検討ください。」

昨年は札幌市豊平区の月寒少年消防クラブ・三代目月寒ぼうさい探検隊が気象庁長官賞を受賞しました。

今年のぼうさい探検隊マップコンクールの応募〆切は、11月9日（水）となっています。

詳しくはこちらをご覧下さい。

<http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/>

■「北海道シェイクアウト2016」参加者募集中

今年も、「防災の日」である9月1日（火）に、北海道シェイクアウト訓練を実施します。

職場や学校、自宅など普段の暮らしの中で実施できる実践的な訓練ですので、ぜひ地域の皆さんで参加しませんか。

シェイクアウトとは、2008年に米国カリフォルニア州で始まった、地震を想定して参加者が一斉に行動するという訓練であり、参加者は同じ日時にそれぞれの場所で、1分間「Drop（まず低く）、Cover（頭を守り）、Hold on（動かない）」の基本行動を行います。

机の下にもぐるといった単純な行動であっても、いざ地震があった時には、なかなか実際に行動に移せないものです。あなたはどこにもぐりますか。頭を守れるだけの場所はありますか。

シェイクアウト訓練により地震時に自分の身を守るために、とるべき行動をあらかじめ決め、習慣づけておくことが必要です。

現在、参加者を募集しています。参加いただける方は登録をお願いします。参加登録など、詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/shakeout/2016.htm>

なお、道では、職員がシェイクアウト訓練用のポロシャツを着用して、当日の訓練に参加します！

■ 「北海道地域防災マスター認定研修会」の開催について

道では、ボランティアとして地域の防災活動に取り組んだり、災害時には地域の防災リーダーとして活躍いただく、「北海道地域防災マスター」の育成に取り組んでいます。

「北海道地域防災マスター」の認定を受けるための講習会は、今年度、道内各地で計4回開催されます。

第1回は、7月30日（土）に新ひだか町で開催されます。現在、参加者を募集しており、6月28日（火）まで受付けています。

第2回は、9月11日（日）に札幌市で開催されます。募集期間は6月30日（木）～8月4日（木）までとなります。

なお、第3回は留萌市、第4回は根室市で開催する予定です。

受付は、申込み順となりますので、お早めに申込みをお願いします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/bosaimaster.htm>

【5】ネットワークへようこそ！

6月24日（金）現在のネットワーク構成員数は、91（30個人・61団体）です。

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

このコーナーでは、参画いただいている皆様の横顔を順次、ご紹介していきます。

【株式会社シン技術コンサル】

株式会社シン技術コンサルは、航空写真の撮影や測量、建設コンサルタントを中心に道内で業務を実施しています。

防災教育の取組としては、洪水など水害の恐ろしさを風化させないことを目的に、郷土資料館や図書館等に所蔵されている過去の被災写真や災害資料を厳選して分かりやすく冊子にまとめた「目で見る水害レポート」の発行を年2回行っており、全道の図書館及び治水関係機関などに配付しています。最新号では、昭和50年の十勝・釧路地方の水害をとりあげました。

このほか、ハザードマップの作成や災害図上訓練等の企画・運営、災害時初動マニュアル

などの防災関連マニュアルの作成も行っています。

シン技術コンサルはこれらの取組を通じて、災害予防・災害応急といったカテゴリーの中で、社会に貢献できる組織を目指しています。

シン技術コンサルのホームページはこちらです。

<http://www.shin-eng.co.jp/>

【編集後記】

6月10日に、国の地震調査研究推進本部が「全国地震動予測地図2016年版」を発表しました。

この中で、「今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」が地点別に公表されていますが、直後に震度6弱の地震が起こった函館市は0.99%と、全国ではかなり低い方の確率であったため、マスコミなどでは「0.99%なのに何故?」といった報道がなされていました。

今回の調査で一番高かったのが千葉市の85%。

また道内でも60%を超えていたところがありました。

しかし既知・未知の断層が列島中に多数ある地震大国の我が国では、どこででも地震は発生するもので、必ずしも確率の高い順に発生するわけではありません。

同本部の2010年度版の資料によると、日本での30年以内の発生確率で1%前後のものとして、

- ・火災で罹災 1.9%
- ・ひったくりに遭う 1.2%
- ・大雨で罹災 0.50%
- ・台風で罹災 0.48%
- ・すりに遭う 0.58%

が挙げられています。

火事に気をつける、すりに遭わないようにする・・・

そういうものに対するリスク回避行動は、日頃から誰しも自然としていると思いますが、地震に対する備えとなると、どうでしょうか。

ちなみに年末ジャンボ宝くじを毎年10枚ずつ、30年間買い続けて1等が当たる確率は、0.001%だそうです・・・ (YK)

=====

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

(北海道総務部危機対策局危機対策課)

- ・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

- ・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>